

プライバシー入門編

参加者はプライバシーに関する個人の感覚や生活への影響について考え、非公開にしておきたい情報の種類や、特定の情報をシェアするかしないかの判断などについて検討します。

素材

プライバシーゲームの資料

あなたにとっての「プライバシー」の意味

プライバシーゲーム

クラスインタラクション

プライバシーゲームの資料を配布します。

以下の内容を伝えます。

皆さんは日々、インターネットを利用したり、携帯電話やその他のデジタルデバイスを使用したりする際に、自分のプライバシーについて意思決定を行っています。このような決定の一つひとつをじっくり検討しているわけではないかもしれませんが、これらが積み重なってプライバシーに関する自分なりの理解の習得につながっているのです。

プライバシーとは、他人があなたについて知り得る情報を管理することです。例えば、自分について話したり(他人に自分の住所や趣味を教えるなど)、他人の前で何か行動を取ったりすることで(友達と買い物に行く、欲しいものを選んだりするなど)、あなたは自分についての情報を他人と共有しています。プライバシーを考えるうえで、他の人と物理的に一緒にいるのか、それともオンラインで話しているのかどうかが重要になります。

プライバシーの管理は各自の判断により変わるものです。自分や家族にとってのプライバシーの意味と、他の人やその家族にとってのプライバシーの意味は、大きく異なる場合があります。どのような情報を非公開にとどめておきたいのか、オンラインでの行動によってプライバシーがどのような影響を受けるのかについて認識を深めると、自分に適したプライバシーの管理方法を選択できるようになります。

それでは、プライバシーに関するミニゲームに挑戦してみましょう[プライバシーゲームの資料を参照]。プライバシーに対する自分の認識や考え方を見直すきっかけにしてください。まず各自で配布資料に記入し、その資料を持って室内を歩き、他の参加者に自己紹介しましょう。配布資料に記入した情報について、お互いに質問し合ってください。他の参加者に資料自体を見せてはいけません。資料はアクティビティ後に回収しますので、お持ち帰りいただいても、捨てていただいても構いません。

他の参加者からの質問に少なくとも3つは、あなたの回答をシェアするようにしてください。4つ以上の回答をシェアすることもできます。シェアする3つ以上の情報を自分で選ぶこともできます。それぞれの参加者はどのくらいの情報をシェアするでしょうか。どのような情報をシェアするでしょうか。ではさっそく、歩いて会話を始めましょう。

クラスインタラクション

参加者に配布資料に記入してもらいます。次に、参加者が室内を歩いて交流する時

間を15分取ります。その後、次の質問を使用してグループ全体でディスカッションします。最後に、参加者が配布資料を破棄するか、持ち帰るかを確認します。講師は資料を回収してはいけません。

ディスカッション

以下の質問を投げかけます。

誰ともシェアしなかった情報はありましたか？それはどの情報ですか？それはなぜですか？

どのような情報をシェアしましたか？それはなぜですか？

どの情報をシェアするかについて全員が同じ判断をしましたか？それはなぜですか？もしそうではない場合、その理由も考えてみましょう。

シェアする相手に応じて、シェアする内容や情報量を変えるのはなぜでしょうか？どのようなとき情報をシェアしますか？

このアクティビティ中にはシェアしたけれども、自分の知り合いだったら誰ともシェアしていなかったような情報はありますか？それはなぜですか？

このような情報は公開していますか？非公開にしていますか？それはなぜですか？すべての人に対して同じ対応ですか？

以下の内容を伝えます。

このアクティビティからもわかる通り、どの情報をシェアするかしないかについての判断は、人によって異なります。選択した理由も人それぞれです。

今回行ったのは単なるゲームですが、私たちは日々の実生活においても同じような判断を行っています。例えば、ソーシャルメディアで特定の写真を投稿するかどうかを決めています。また、ソーシャルメディアのアカウントでメールアドレスなどの連絡先情報を公開するかどうかを決めています。仲の良い友達であっても自分と同じような判断をするとは限りません。自分自身でさえ、先月と今月で異なる判断をすることもあります。また、2つの異なる時点で同じ決定をしたとしても、その理由が同じとは限りません。

このようなさまざまな決定や理由には、プライバシー設定に関する個人の理解が反映されています。

簡単に言うと、プライバシー設定とは自分の情報の取り扱いに対してどのような選択をするかということです。この情報は、アイデンティティや個人情報、活動、嗜好、日課、その他生活のさまざまな場面に存在します。今日のデジタル世界では、自分の情報を他人とシェアする機会がたくさんあります。そのため、プライバシーに関する自分の理解を確認し、その理解が十分かどうかを考えることが重要です。

以下の質問を投げかけます。

プライバシー設定に関するゲームでの行動や日々の行動を踏まえて、プライバシー設定をどのように定義しますか。それはなぜですか。

すべての非公開情報は秘密にしたい情報でしょうか。

1. 必ずしもそうとは限りません。例えば、自分の誕生日は日記につづるような秘密の情報ではないかもしれませんが。親、保護者、医者など、世界にはあなたの誕生日を知っている人や知る必要がある人が大勢います。とはいえ、秘密でなくても、その情報を非公開にしておくことはできます。ほとんどの人は、誕生日は親しい人やその情報を知る特別な理由がある人のみが知っておくべきだと考えているため、すべての人に誕生日を教えたくはないと考えているはずです。誰が、いつ、どのような理由で自分についての情報を知るべきかを決定することが、プライバシーを考えるうえで鍵となります。

以下の質問を投げかけます。

秘密にする必要はなくても、よく知らない人や会ったばかりの人には非公開にしておきたい情報が他にもありますか。

1. 携帯電話番号、メールアドレス、写真、動画などでしょうか。

親、保護者、友達などに知られたくない情報はありますか。先生やその他の教育関係者についてはどうでしょうか。

1. 学校での成績、Instagramアカウント、日記などかもしれません。

プライバシーに関する自分自身の理解について、何か発見したことはありましたか？

以下の内容を伝えます。

このレッスンの終了後、プライバシーゲームを持ち帰ることもできます。今回はプライバシーについてあらためて考えなおすことができたと思います。ここで深めたプライバシーへの理解を生かす場面は今後もたくさんあるでしょう。

課題

課題

以下の内容を伝えます。

それではプライバシーに関する理解について、さらに詳しく確認していきましょう。

1. 自分は非公開にしている、他の人はシェアまたは投稿している情報の例をインターネットで3つ探してみましょう。例えば、有名人、政治家、ビジネスリーダーのコンテンツが考えられます。ハッシュタグで検索したり、インターネットで一般的なキーワードを使って検索したりすることもできます。異なるトピックについてさまざまなリソースを探してみましょう(写真や動画、他の人がソーシャルメディアや新しいメディアプラットフォームで書き込んだコメントのようなテキストベースの投稿など)。
2. それぞれの例について、その情報を非公開にすることを選んだ理由を1段落ほどにまとめましょう。この情報のシェアに関する個人的な意見が状況(やり取りしている相手、やり取りに関わっている人数、目的、目標、学校や学校外などの環境)によって変わるかどうか、変わる場合はどのように変わるのかも説明してください。

課題

この課題を完成させる時間を40分取ります。